

令和3年度 学校教育方針

京都市立山科中学校

◎学校教育目標

山科の心 ～折れない心, 熱い心, 優しい心～

『「生きる力」を身につけ、心と知性ある豊かな人間を育成する』

1 学校経営方針

- (1) 人権尊重を基本に、如何なる教育活動にも一生懸命取組み、活気と笑顔に満ちあふれた安全で安心な学校を目指す。
- (2) 心の教育を充実させ、あらゆる場面で豊かな心と規範意識・自己有用感を育てる。
- (3) 「いじめは絶対に許さない」認識のもと、全教職員が教育に組織的に対応する。
- (4) 全教職員による協働体制を確立し、生徒の自ら学び、自ら律する力を高めることにより、秩序のある学校風土を創る。
- (5) 地域の学校としての使命を自覚し、学校と家庭、地域の連携・協働を深め、信頼される学校づくりを行う。
- (6) 9年間の小中一貫教育を推進し、新学習指導要領が目指す確かな学力の定着を図る。
- (7) 調和のとれた生活習慣を身につけさせ、生徒の心身の健やかな成長と健康の保持増進、体力の向上に努める。

2 目指す生徒像

- (1) 伝統と文化を受け継ぎ、**熱い心**をもって次代と自らの未来を創造できる生徒
- (2) 自らの学びを生かし、**折れない心**をもって社会的・職業的な自立が果たせる生徒
- (3) 多様性を理解し他者を思いやり、**優しい心**をもって人権文化の担い手となる生徒
- (4) 基本的な生活習慣と規範意識を身につけ、礼儀正しく自らあいさつができる生徒
- (5) 自ら健康保持・増進を心掛け、体力の向上に努めることができる生徒

3 目指す教職員像

- (1) 生徒の命を守りきるために生徒理解の視点に立ち、生徒や保護者と望ましい人間関係が築ける教職員
- (2) 新学習指導要領が求める授業力の向上に向け、常に課題意識を持ち、自らの専門性を高める教職員
- (3) 人権教育の視点に立ち、いじめや差別のない学校づくりに努める教職員
- (4) チーム山科の一員として常に妥協することなく、カリキュラム・マネジメントの視点をもって教育活動に励み、生徒と共感し合える教職員
- (5) 教職員としての職責を自覚し、自己研鑽に努めると共に、働き方改革を意識した実践ができる教職員

4 重点目標

- ・新学習指導要領が示す授業の在り方を研鑽すると共に家庭学習との連動を通して、基礎的・基本的な学力と体力の定着を推進する。
- ・あらゆる教育活動を通して心の教育の充実を図ると共に、主体性と社会性の育成を目指し、自ら学ぶ力と自ら律する力を高める取組を推進する。
- ・困りや悩みを抱える生徒一人一人に寄り添い、支援教育の充実と合理的配慮を推進する。
- ・計画的な教育活動の展開と緊急的な状況に対して自他を守る適切な行動を推進する。
- ・ギガスクール構想を理解し、効果的な活用と仕組みの構築を推進する。